



《発行所》
 若葉台
 第一住宅管理組合
 坂戸市千代田4丁目7番30号
 電話 049-283-7950
 メール:kanri@wakaba1.com
 http://www.wakaba1.com/



第35回 通常総会

すべての議案が承認 新年度がスタート

2014年度「第35回通常総会」は5月25日(日)9時30分から千代田公民館の体育館において開催されました。

議長団に松下隆輝氏と若宮俊一郎氏を選出、総会に出席された方は202名、議決権を行使された方は594名(10時30分現在) 例年から見ると少し空席も感じられましたがその中、議事が進められました。

今総会には理事会から第1号議案から第8号議案が提案されました。議長団から質問と回答は簡潔にと説明がされましたが、今回は全ての議案に質問等はなく議事はスムーズに運びました。大規模修繕が無事終了し今後の住環境に対する安堵感のようなものがある



新理事長に 聞きました

「長い間理事を経験されてきたと思つのですが、理事長を受けられてどんな感想をお持ちですか。」

「最後に新しい理事の紹介があり長い期間理事長を務められた加藤一雄氏に替わり松本昭氏となりました。新しい理事長にはこれからの進め方など伺いましたので次のコーナーでご紹介します。」

「前理事長の意向を引き継いでいくということは一応4点を考えているのですが、一つ目としては、若葉台団地は緑の環境が良くて草木を大事にする、植栽部・植栽協力員を頭として緑を大事にしていきたい、二つ目として住

みよい環境づくりを目指したい、三つ目として高齢化が進んでいますのでこれをどうしたらよいかということに思いやり触れ合いを大切にしていきたいと、四つ目に規約に基づいた日々の生活、日常があるように進めていきたいと思つているのです。これらは皆さんの協力とか理解、応援をいただかなければ出来ませんが、そんなことを考えています。」

「具体的にお伺いしたいのですが、一つ目の緑の環境ですが、多くの方がこの団地に住むきっかけとなっております。どのよう維持・継続をお考えですか。」

●植栽部と植栽協力員の力が大きいことはご存知のとおりです。皆さんボランティアで協力員になつてくれています。私も植栽協力員に入っていますが、皆さんの足を引っ張らないように参加し取り組んでいきたいと思つています。

「住み良い環境づくりの場合はどうでしょうか。」

●この団地はいろいろな方面から注目されていて緑だけでなくここに住んでいる人たちが居心地が

いいというのも大事かと思つています。例えば、ごみ出しなんかにしても指定日を守らなければそのまま残ってしまう、ルールを守っていくことも一つかと、以前は衛生委員の制度があつて指導というか整理をしていただいたのですが、新しい入居者にもこの団地のルールを早く知っていただくなど、管理事務所にもお願いし進めていかなければと思つています。」

「高齢化は誰もが感じてきていると思うのですが、どんな声かけが有効なのか難しいと思うのです。」

●正直言つて高齢者問題は手探り状態です。一口に思いやり触れ合いと言つても難しさはあります。ひと声運動ではないけれど、団地の中で出会う人たちに声を掛ける、コミュニケーションの入り口です。それだけでも違うのかなと、人と人をつ繋いでいく一歩に出来ればいいと思つているのですが。」

「単身の高齢者を孤立させないといつても、団地での行事(夏祭りや体育祭、手抜き除草など)にも出て来ない人たちもいます。」

●最低限の行事には参加してほしいと思つています。イベントに参加すれば出会いがあります。棟長さんも顔の分からない人がいると聞きます。民生委員の方々が70歳以上の家々を訪問してくれていますが、顔を出してくれない人もいます。負担にならないような繋がりが出来ると思います。皆さんからの知恵もほしいところです。」

「高齢者の中には囲碁・将棋が得意とか趣味を持つている人たちがいると思つのですが、自分の特技を生かした子どもとの触れ合いの場の企画とか、子どもとのジョイントを考えるのも面白い試みのように思つのですがいかがですか。」

●管理組合としてやりやすくと簡単にお約束は言えませんが、大規模修繕などハード面はほぼ終了し、これからソフト面が問われてくるのかと思つています。暮らしのルールを尊重し、お互いが安心して暮らせる団地にしていきたいと思つています。」

「ご苦労も多いかと思つますが、一年間の活躍を期待します。」

「聞き手・広報部 文・佐藤」

現役時代は明け残る時間に出勤し闇夜に千鳥足で帰還の日々。定年後は浦島太郎状態。棟長を務めるようになり出会いも増え若葉子ども見守り隊への誘いがあり、半信半疑で参加。「あつ！新人さんだ」元氣な声に迎えられる。初日スタート。花粉症で目を真っ赤にしていると花粉症用のメガネを販売している店を覚えてくれる優しい子。無精髭で旗振りをしていると突然鋭い突っ込み、「おじさん白髪が凄いや」女子は手強し。

卒業式の日、おめでとうと声をかけると普段は全く反応が無かった子が「おじさん有難うございしました」と目を輝かせお札を言われびつくり。ブルーの防犯帽子とライトグリーンのベストを着用している子ども達は気軽に話し掛けてくる。魔法のユニホームだ。下校時一瞬の出会いだが未知の原石達とのやりとりは驚きと感動の日々。

今日も無事故で！さあ
 出勤。(勇)

文字摺草

安心・安全の暮らしを目指し

副理事長(自治会長、自主防災会会長) 佐藤 浩

本年度副理事長を仰せつかりました。19号棟601号の佐藤です。年度初めにあたりご挨拶申し上げます。新理事長を迎え5月25日の総会にて信任を頂き理事会が前に動き始めました。理事長のサポーターとして1年間理事の皆様を補佐出来れば私の仕事としては最高です。当組合では、大規模修繕工事も一段落致しました。しかし高齢化の波は止まることなく進んでおり今後当組合においても高齢者の憩いの場を考えておかなければなら

なのは飲み水と思われる。受水槽の水はポンプで送られるため停電すれば断水状態となるため、2013年に、受水槽内の水の水圧を利用して水を「災害時緊急用給水設備」を整備したことから、水の提供が可能。課題は山積してはいますが少しでも前へ前へ一つひとつ確実に完成させたいと頑張ります。楽しい住空間、住みよい街づくり、安心と安全の生活をこの一年間考え、以前に先人達の皆様が造りあげた功績にもお答えして参ります。結びにあたり皆様のご健康を、お祈り申し上げます。

中層棟17号棟18号棟19号棟玄関先の整備、駐輪場周りの整備、ベランダ下低木類の補植など、大規模修繕工事などで失われた緑の環境の再生作業が今春に漸く出来上がりました。再生作業の中で新たな試みとして宿根や球根の多年草を植えました。また一部ではありましたが、大量のジャーマンアイリス、紫蘭、キスゲ類、ツツジなど沢山の奇贈を受けて駐輪場周りや通路脇に植えることが出来ました。当団地ではこれまで草花類はフラワーカーブの管理(草取り、枯れ草の除去、濁水時の水やり)は各棟の皆様の力でできるようなれば、草花類も根づき毎年楽しめるようになるのでは無いでしょうか。今回の試みを機に少しずつでも「草花のある潤いの環境作り」を進めて行きたいと考えています。今年度の課題としては大きく育



19号棟ガーデン

も取り組んでゆかねばなりません。定期的な剪定が行き届かず大雪で枝折れや薬剤を使用する病虫害の駆除など危険な作業は都度業者に発注し進めてゆきます。その上で住民の皆様に密着した棟周りの樹木(夏椿、ヤマボウシ、ハナミズキ、山茶花、椿、キンモクセイ...)の定期的な剪定を実施してゆく計画です。芝生の管理については5月から6月の雑草繁茂が毎年の課題となっています。今年度も例年のごとく多くの棟の芝生が雑草で覆われてしまい、6月15日の全棟芝刈りでは芝刈り機に負担が掛かり大変な苦勞をしています。これを改善する為に年間行事予定の手抜き除草芝刈りの日程を見直しました。年度予算の執行上、今年間に合いませんが来年5月に業者による芝刈りを実施することで多少とも改善する取り組みを進めて行きます。私達の団地の緑の環境管理では、住民の力で出来るものは自分達でやる。の伝統に基づいて、住民の皆様、植栽協力会の皆様の協力を得て進めて行きたいと考えています。

施設管理の今年度予定

施設管理部長 安藤 征四郎

いよいよ新年度事業計画が始まりました。今年度の施設管理部の最大の案件は、耐震精密検査です。その内容については、広報わかば第153号でもお知らせしてきました。総会后コンサルタントの先生方と準備を行ってき

- 体的なスケジュールの概要をお知らせします。
- I・診断目的
大地震時に本建築物利用者並びに所有者の生命身体及び財産等を保護するため本建築物の耐震性能を把握することを目的とする。
- II・業務対象建物
Aブロック 6号棟

- III・業務内容
- 1、現地調査
 - ①コンクリート強度等調査、中性化深度測定
 - ②躯体劣化調査、中性化深度測定
 - 2、診断業務
 - ①作業準備、調査立合
 - ②精密耐震診断
前項現地調査をもとに財団法人日本建築防災協会の耐震診断基準による第1次診断を行い、当建築物各階について第1診断を行いどの程度の耐震性能があるのか判断する。
 - ③診断結果に対する評定書の取得
 - 4に挙げる診断担当者を実施した耐震精密診断の結果妥当性について、坂戸市の定める評定機関において判定
 - ④補強例の作成
規定の構造耐震指標値に不足する結果となった場合、規定の耐震指標値を満足するため必要となる補強の目安を一例例示する。
 - ⑤報告書取りまとめ
診断結果を6に挙げる成果物としてまとめる。
 - 3、打ち合わせ、調整等
打ち合わせ、報告診断業務遂行に必要な打ち合わせを適宜行う。

- 4、診断体制
- 本業務は建築再生総合設計協同組合所属の者が行う。
- ・統括責任者 宮城秋治
 - ・宮城設計一級建築士事務所
 - ・構造 村松正高
 - ・オー・アール・エー建築工房
 - ・建築 江守英実
 - ・江守一級建築士事務所
 - ・設備 柳下雅孝
 - ・マンションライパー
- (次ページに続く)

- トナーズ
- 5、成果物
- ①耐震精密診断結果報告書
- ②耐震診断結果評定書
- ③耐震精密診断結果報告書、付属資料(電算出力結果、現地調査報告書、補強例)
- 6、業務スケジュール
- ①作業準備
- 7月1日～7月末日
- ②現地調査
- 7月14日～7月26日
- ③診断、計算
- 9月1日～1月末日
- ④評定書の取得
- 1月5日～2月末日
- ⑤報告書取りまとめ補強例検討
- 12月1日～3月末日
- 以上の様なスケジュール

ルとなっておりますが、審査機関及び自治体等の都合により、工程変更があります。

この他の予定として

- ①集会所の便所のバリアフリー化及びグレードアップ化の工事を予定。
- ②B倉庫側面木造物置換、修屋根及び外壁部漏水のため改修工事実施します。
- 施設協力会で9月頃の実施予定。
- ③日常修繕工事は、随時実施予定。

施設管理部としては以上の様な予定です。皆さんの協力のもと注意深く実行する所存です。

子どもたちの期待にもこたえたい

コミニティ部長 今坂祐輔

仕事から離れた数年の間、緊張から解放された「ゆるふん」状態のまま誰はばかることもなく日々を安穩に過ごしていた。しかし、運命の転機は予期することもなくやってきて、理事に推されてコミニティ部に籍を置くことになる。自治会の活動にちよっぴり興味はあったもののその活動の実態は露ほども知らず、最初の一年はひたすら諸姉諸兄の手ほどきを受けながら終える。それでほっとする間もなく慰留されるけど、弟はまだ小さくてできなかったんです。が、昨年初めて練習しはじめて、少しだけすべれるようになりました。今年家族全員でリフトにのって、上から下まですべってみたいです。

また、ふだんの土日はぼくと妹は、毎週必ずサッカーです。練習や試合で朝から夕方まで出かけてる事が多いです。お母さんも昔サッカーをやっていた事があるので、し

かのように担務をこなし、意気軒昂、たいへんな賑わいぶりである。改めてわが身に問うてみる「老骨に鞭打ち後一年だけ踏ん張ってみようか」と。

例年のように子ども等とのお話会があり、映画会の上映作品は、アンケートによる投票と、女の子達の圧倒的な拳手や喝采によって「アナと雪の女王」に決まった。

その席上子ども等にも日頃思っている意見や要望を募ったところ、活発な意見が交わされた。なかでも「子ども花火大会」開催への要望がひととき強かった。拙いながらも子ども等自身で必死にまとめた企画書も携えてきていた。

役員を退任して 東野 行夫

なかるうか。多くの方々のご賛同と実現に向けたご協力をお願いする次第です。

2002年に1年間だけのつもりで気軽な気持ちで理事に立候補したのが始まりでした。担務を決める会議で施設管理部長の内示があった時にはびっくりしました。全くの素人で建物や設備など施設管理に関する事は知りませんでした。が、当時は管轄技術委員会があり技術的サポートが受けられるので、やれるのではと引き受けました。

施設管理部の部会と管轄技術委員会の会議を合同で行い、課題に対しての対処を行いました。また業務委託を行っている業者の定期検査はどの様にしているのか、設備はどうなっているのか知りたくて立会も行いました。担当者との対話のなかで色々理解ができました。理事は担務について理解しようと思えば誰でもできると思います。新しいことを覚えるのは自分の知識がどんどん増えていくので楽しいし、また知り合いが増えて今まで知らなかったことが

話題となり視野が広がると思います。

「世代を問わず快適に暮らせる若葉台団地」を目指して2002年7月にプロジェクト21が発足し、躯体の耐用年数を60年として35年間快適に暮らせる団地を目指した中期管轄計画を事務局として作成しました。そのために笠幡団地管理組合と昭島つじが丘ハイイツ北住宅団地管理組合を訪問したりなどしました。

計画が承認されて、工事が一区切りつくまではと役員を続けてきました。昨年度に自転車置き場の工事が終了したのを機会に役員を退任いたしました。

12年間の役員を退任してほっとしています。今後は管理組合の活動を協力員としてお手伝いします。

ぼくの家

26号棟 福本柚稀 (四年生)

ぼくのお父さんは、土日祝日が仕事で、火曜日しか休みがありません。そのため、学校や幼稚園の休みと合わないです。家族全員で出かけることはなかなかできませんが、夏休みと冬休みに少し休みがとれるので、その時に家族全員で出かけています。

ぼくたちが小さいころは、毎年夏休みに軽井沢に旅行に行っていました。小学生になってからは、スキーをやりはじめたので、夏休みに出かけることよりも、お父さんのお正月休みに合わせて、日帰りスキーに行く事が楽しみになっています。ぼくと妹は、リフトのついでスキーをすることが

んぱんのしかくももっています。毎週必ず弟をつけて、ぼくや妹の試合や練習に来てくれます。学年が上がるにつれて、試合の数も多くなり、朝5時前に起きてお弁当を作ってくれます。お父さんは仕事をがんばってくれて、お母さんはいつもぼくたちのそばにいておうえんしてくれるので、ぼくもせいっぱいサッカーや勉強がんばりたいと思っています。

暑い夏の宵、うちわ片手に浴衣姿、興じる子ども等の花火大会に仲間入りしてみるのも一興では

暑い夏の宵、うちわ片手に浴衣姿、興じる子ども等の花火大会に仲間入りしてみるのも一興では



2014年度役員

一年間よろしくお祈いします

広報部			財務部	総務部		副理事長		理事長
成田 勇 26-103	副部長 羽磨千賀子 6-304	部長 佐藤公子 17-502	部長 本間 稔 29-801	副部長 大野早百合 2-501	部長 横田光朗 3-203	佐藤 浩 19-601	富田 要 2-203	松本 昭 15-301
植 栽 部				施 設 管 理 部				
原 正夫 19-201	前田久美子 5-402	副部長 宮沢洋一 28-601	部長 吉澤 豊 29-1102	柳沼順子 27-104	守口征司 20-306	大月儀一 13-504	副部長 瀬尾武男 28-1403	部長 安藤征四郎 17-406
監 事		コ ミ ニ テ イ 部						植栽部
芦田武男 28-1104	加藤一雄 9-205	井出定夫 34-103	高野一男 29-301	藤田精一 28-204	納 満雄 12-203	副部長 長澤常憲 34-102	部長 今坂祐輔 23-305	伊藤國男 19-506

植栽協力員

1-103	松 本 全
2-501	大 野 早 百 合
3-105	宮 川 和 晟
4-102	藤 村 寿 子
9-205	加 藤 一 雄
14-202	畠 山 晴 男
15-104	山 川 浩 文
15-301	松 本 昭
16-304	大 和 定 幸
17-406	安 藤 征 四 郎
19-101	糸 孝 志
19-403	岡 野 孝 浩
19-601	佐 藤 浩 雄
19-603	越 川 三 千
21-103	東 野 行 夫
23-303	昇 勝 己
25-103	本 堂 正 男
26-703	岡 田 一 夫
26-1401	金 子 省 三
27-203	木 内 一 郎
27-203	木 内 豊 子
27-404	太 田 誇 行
27-502	釘 宮 捷 清
28-504	吉 川 清 男
28-1104	芦 田 武 男
28-1403	瀬 尾 武 男
29-404	川 越 進 幸
29-504	吉 田 泰 博
31-101	中 山 要
2-203	富 田 豊
29-1102	吉 澤 一
28-601	宮 沢 洋 子
5-402	前 田 久 美 子
19-201	原 正 夫
19-506	伊 藤 國 男
18-101	伊 藤 紀 子

車椅子が常備されました。今までも1台ありましたが、それはお借りしていたものです。今回理事長になられた松本昭様から寄贈があり常に管理組合に常備されています。どうぞ遠慮なくご利用下さい。



▽当号の準備を始めた頃梅雨に入りました。皆さんのお手元に着く頃は暑い夏の最中でしょう。新年度が始まり新しいメンバーの羽磨さん、成田さんの3人で広報を担当、今年度最初の「わかば」をお届けすることができました。

これから1年間よろしくお祈いします。(佐藤公子)

退任のあゆみ 吉田京子

私が団地の役員として一年間を過ごすことになるとは、思いもよらなかったことですが、いざ始まってみると、前月には日程が決まるので、今までのどの一年間よりも早く過ぎました。そして、その間緊張が続いたのは、今考えてみるとそれまで総会で見ていた役員さんたちが身近に存在すること、なかなか慣れるものではなかったからです。理事会は夜にあります、私が役員になった植栽部

としては、毎週2回午前中の作業があり、男性部員は体力のいる仕事なので大変です。要望書の内容に基づいて次々と団地の住民が困っていることや、植木等の処理を行っていることも知らないでいた私ですが、女性部員の仕事としては、お昼のお食事のお世話のみ、それも私の出来る日は、月1回というありさままでお役に立てなかったことを反省しています。こんな風に自分のことより団

地のことを優先している人たちのお陰で、私たちの生活が成り立っていたことを思い知ることになるとは・・・単に団地のルールからはみ出さず生活すれば良いだけではなくて、それぞれの思いをしっかりと受け止めてくれるところがあると、いうことを知れば、安心感が生まれて、連帯感が強まることを実感しました。この一年間で一度に他の棟の人たちと知り合

た。この一年間で一度に他の棟の人たちと知り合ったと思えます。ありがとうございました。最初の号では子どもの立場から原稿をお願いしました。お行儀よく原稿用紙に書かれており、そのまま紹介したかったらいいです。▽当号の準備を始めた頃梅雨に入りました。皆さんのお手元に着く頃は暑い夏の最中でしょう。新年度が始まり新しいメンバーの羽磨さん、成田さんの3人で広報を担当、今年度最初の「わかば」をお届けすることができました。

編集後記